

## もしも病気になったら…かかりやすい病気の治療費

### かかりやすい病気の値段

日本人の死亡原因(厚生労働省2010年人口動態統計)は男性の場合、1位「がん」、2位「心臓病(心疾患)」、3位「肺炎」、4位「脳卒中(脳血管疾患)」。女性はがん、心臓病、脳卒中、肺炎の順で多く、四つの疾病による死亡者数が全死亡者数の約65%を占めます。そこで心配になるのが「病気の値段」。手術前・手術中・手術後まで含めた「周術期」にかかる医療費を下記の表にまとめてみました。

病名	周術期	抗がん剤など
胃がん	124万円(定型手術、17日)	92万円/年
肺がん(小細胞)	96万円(放射線化学治療、20日)	73万円/年
肺がん(非小細胞)	159万円(胸腔鏡手術、10日)	
結腸がん	38万円(切除手術、17日)	91万円
肝臓がん	101万円(ラジオ波焼灼療法、7日)	

病名	周術期
脳血管疾患	150万円(41日)
高血圧疾患	127万円(40日)
虚血性疾患	151万円(13日)
糖尿病	109万円

### 知らないで損! 高額療養費制度の利用で負担を軽減

収入が限られている高齢者には医療費の負担が重くのしかかりますが、これらの病気には健康保険が適用されるため、病院での窓口負担は3割で済みます。

しかし、100万円を超えるような医療費の場合3割といっても負担額は高額。そこで利用したいのが「高額療養費制度」です。

高額療養費制度は、医療機関や薬局の窓口で支払った額(入院時の食費負担や差額ベッド代等は含みません)が、月の初めから終わりまでで一定額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度です。

負担の上限額は、年齢や所得によって異なります。最終的な自己負担額となる毎月の「負担の上限額」は、加入者が70歳以上から、加入者の所得水準によって分けられます。70歳以上の方には、外来だけの上限額も設けられています。

また「世帯合算」や「多数回該当」といった仕組みにより、さらに最終的な自己負担額が軽減されます。

治療が長引けばさらに負担は重くなります。抗がん剤治療は年間に数十万円がかかりますが、月々の医療費は高額療養費に満たない額となりますので、毎月負担が続いていくということになってしまいます。



## あなたの考えと求める医療は？

尊厳死を希望している	はい	いいえ
病名告知を希望している	はい	いいえ
余命告知を希望している	はい	いいえ
臓器提供を希望している	はい	いいえ
献体を希望している	はい	いいえ

持病はあるか	はい	いいえ
病名		
病名		
病名		
病名		

かかりつけの病院はあるか	はい	いいえ
病院名	科 担当医	電話
病院名	科 担当医	電話
病院名	科 担当医	電話
病院名	科 担当医	電話

健康保険証	種類	
	記号	
	番号	
介護保険証	番号	
保管場所		

あなたが考える 医療の費用は	円
-------------------	---